

## 労働力調査の季節調整法におけるreg-ARIMAモデルの一部変更について（2026年改定）

労働力調査では、毎年1月分結果公表時に季節調整値の改定を行っています。主要系列については、2013年1月からreg-ARIMAモデルを導入しており、毎年の改定時にreg-ARIMAモデルを検証しています。

2026年における季節調整値の改定（2026年3月3日公表予定）では、主要系列の季節調整法におけるreg-ARIMAモデルの一部変更を行います。

労働力調査では、毎月、季節変動を除いた季節調整値を計算し、公表しています。この季節変動の除去は、原数値を季節指数（各月の季節変動のパターンを表す数値）で除すことにより行っています。そして、毎年1月分結果公表時には、直近の季節パターンを的確に反映させるため、過去の時系列データに前年12か月分のデータを追加し、最大で過去29年分のデータを用いた遡及計算を行い、当年に適用する推計季節指数を算出するとともに、直近の10年分の結果を改定しています。

2026年における季節調整値の改定（2026年3月3日公表予定）では、主要系列の季節調整法におけるreg-ARIMAモデルの一部変更を行います。

### 主要系列の季節調整法におけるreg-ARIMAモデルの一部変更

労働力調査では、季節調整値のうち主要系列について、2013年1月分結果公表時からX-12-ARIMAにおけるreg-ARIMAモデルを導入しています。毎年の改定時に、主要系列におけるreg-ARIMAモデルの見直しを行っています。

今回の見直しの結果、2026年1月分結果から採用するreg-ARIMAモデルは、別紙のとおりとします。24系列中10系列のARIMAモデルを変更します。

## 別紙

表 2026年1月分から適用するreg-ARIMAモデル

		ARIMAモデル	旧モデル	回帰変数 (種類・期間)	設定理由
労働力 人口	男女計	<u>(012) (012)</u>	(211) (012)	LS2011.3 LS2020.4	東日本大震災後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	男	(012) (111)		TL2020.4-2020.6	新型コロナウイルス感染拡大後の一時的水準変化
	女	(012) (012)		LS2011.3 LS2020.4	東日本大震災後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
就業者	男女計	<u>(212) (012)</u>	(111) (012)	LS2009.3 LS2011.3 LS2020.4	リーマン・ショック後の水準変化 東日本大震災後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	男	(111) (012)		LS2009.3 LS2020.4	リーマン・ショック後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	女	<u>(211) (012)</u>	(012) (012)	LS2009.3 LS2020.4	リーマン・ショック後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
雇用者	男女計	<u>(012) (111)</u>	(212) (012)	LS2009.3 LS2011.3 LS2020.4	リーマン・ショック後の水準変化 東日本大震災後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	男	(012) (111)		LS2009.3 LS2020.4	リーマン・ショック後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	女	(012) (112)		LS2009.3 LS2011.3 LS2020.4	リーマン・ショック後の水準変化 東日本大震災後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
正規の 職員・ 従業員	男女計	(012) (012)		-	-
	男	(012) (012)		-	-
	女	(211) (012)		-	-
非正規の 職員・ 従業員	男女計	(211) (111)		LS2020.4	新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	男	(012) (012)		LS2020.4	新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	女	<u>(211) (111)</u>	(111) (212)	LS2020.4	新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
完全 失業者	男女計	<u>(210) (011)</u>	(012) (011)	RP2008.10-2009.7 RP2020.3-2020.10	リーマン・ショック後の傾斜的水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の傾斜的水準変化
	男	<u>(210) (011)</u>	(112) (012)	RP2008.10-2009.7 RP2020.3-2020.10	リーマン・ショック後の傾斜的水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の傾斜的水準変化
	女	(212) (012)		RP2008.10-2009.3 RP2020.4-2020.8	リーマン・ショック後の傾斜的水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の傾斜的水準変化
非労働力 人口	男女計	<u>(012) (012)</u>	(012) (212)	LS2011.3 LS2020.4	東日本大震災後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
	男	(012) (111)		TL2020.4-2020.6	新型コロナウイルス感染拡大後の一時的水準変化
	女	(012) (012)		LS2011.3 LS2020.4	東日本大震災後の水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の水準変化
完全 失業率	男女計	(210) (011)		RP2008.10-2009.7 RP2020.3-2020.10	リーマン・ショック後の傾斜的水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の傾斜的水準変化
	男	<u>(210) (011)</u>	(112) (012)	RP2008.10-2009.7 RP2020.3-2020.10	リーマン・ショック後の傾斜的水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の傾斜的水準変化
	女	<u>(211) (011)</u>	(012) (012)	RP2008.10-2009.3 RP2020.4-2020.8	リーマン・ショック後の傾斜的水準変化 新型コロナウイルス感染拡大後の傾斜的水準変化

注) 下線は前年からの追加・変更箇所

- 上表のモデルの選定には 1996 年 10 月から 2025 年 9 月まで (正規の職員・従業員及び非正規の職員・従業員は、2013 年 1 月から 2025 年 9 月まで) の原数値を用いた。
- ARIMA モデルについては、階差次数・季節階差次数はそれぞれ 1 に固定し、他の次数は 2 以下の範囲内で AIC (赤池情報量基準) の最小となるモデルについて、各次数の統計的な有意性を確認した上で選定した。
- 季節変動を算出する際の外れ値の管理限界は、 $9.8\sigma \sim 9.9\sigma$  としている。
- 曜日・休日調整及び閏年調整は、行っていない。